

認知症に関する多職種連携研修の企画について

資料2

各委員からの意見

H30年度

◆多職種で認知症の人を地域で支えるための連携の視点

スムーズな連携のポイント、それぞれの職種の役割、情報収集、共有の仕方など

平成28年度実施アンケート

◆それぞれの職種がどのように認知症患者と関わりを持っているか

◆国立奈良医療センター 臨床心理士 東氏

(高次脳機能障害の検査法等について実地臨床経験が豊富)

◆認知症の基礎知識

◆認知症介護研究・研修東京センター 名誉センター長 長谷川 和夫氏

(長谷川式簡易知能評価スケール開発者)

◆諏訪中央病院名誉院長 鎌田 實氏

◆京都認知症カフェ連絡会 会長 川北 雄一郎氏

これまでに開催した認知症に関する多職種連携研修会

年度	テーマ	講師
H27	『認知症の在宅療養』 ～「認知症になっても住み慣れた地域で」をいかに支えるか～	独立行政法人国立病院機構 やまと精神医療センター 院長 紙野 晃人 氏
H28	講演：認知症のBPSDを地域で支える ～包括的視点での多職種の関わり方～ グループワーク	九州保健福祉大学保健科学部 作業療法学科 教授 小川 敬之 氏
H29	認知症ケアの向上と多職種連携(第1回)	厚生労働省老健局振興課 介護支援専門官 石山 麗子 氏
	認知症ケアの向上と多職種連携(第2回) ～認知症高齢者に対する虐待への対応と成年後見制度～	生駒総合法律事務所 弁護士 上崎 智代 氏
	認知症ケアの向上と多職種連携(第3回)	全国在宅療養支援診療所連絡会 会長 新田 國夫 氏

他市での開催例(グループワークテーマ)

「認知症に早く気づくには」、「多職種による自立支援の取組」、「退院後の支援法」、
「認知症の進行や在宅介護、看取り」、「他の職種の認知症患者への関わり方の理解」

市民向けフォーラムの企画について

平成30年度

- ◆筑波大学准教授 内田和彦氏(「MCIスクリーニング検査」を開発。認知症予防の話)

平成28年度実施アンケート

- ◆認知症の病症状についてわかりやすく説明、対応方法含む等
- ◆グランソール辻村病院 院長 中村光利氏(認知症に精通)
- ◆関西福祉科学大学 保健医療学部 作業療法士 横井賀津志氏
(セルフチェックや訓練の仕方、対応の工夫などわかりやすい)
- ◆段階別の対処法を具体的な事例で話す講師
- ◆初期相談や適切な医療機関の情報も含む講話内容と対応方法について
わかりやすく話す講師
- ◆認知症の予防方法をわかりやすく話していただける講師
- ◆著名人で介護の経験のある方
例:精神科医 香山リカ氏、漫才師 島田洋七氏、岡野 雄一 氏
- ◆上野千鶴子氏(「おひとりさまの老後」著者)

これまでに開催した認知症に関する市民向けフォーラム・講演会

年度	テーマ	講師
H24	講演『若年性認知症を生きる ～今の気持ち～』 演奏『若年性認知症に関する応援歌等』	中村 成信氏 前田 隆行氏 ロックバンド「おかん」
H25	愛だけで介護はできない～認知症の父と過ごした日々～	遙 洋子氏
H27	生駒市における認知症ケアを考える 講演 「認知症施策の動向について」 パネルディスカッション 「事例を通して考える」	厚生労働省老健局 認知症・虐待防止対策推進室 室長 水谷 忠由氏
H28	パネルディスカッション ～生駒市にとって「認知症にやさしいまち」とは～	
	道しるべ～若年性認知症本人の想い 家族の思い～	越智 恵美子氏
H29	認知症とともに生きる	丹野 智文氏